

Interstage Java EE 6 における クラスパスのサフィックスについて

2015 年 11 月 27 日
富士通株式会社

Interstage Java EE 6 におけるクラスパスのサフィックスの設定方法を公開します。

1. 機能概要

クラスパスのサフィックスは、共通クラスローダのクラスパスの末尾に、任意のクラスパスを挿入する機能です。IJServer クラスタまたは Interstage Java EE 6 DAS サービスごとに有効となるため、共通クラスローダがロードするクラスを IJServer クラスタまたは Interstage Java EE 6 DAS サービスごとに設定することができます。挿入するクラスパスは定義項目「クラスパスのサフィックス」(※1)に設定します。

共通クラスローダの構成は下表の通りです。共通クラスローダは表の上から順にリソースを検索します。

クラスローダ	ロードするリソース
共通クラスローダ	アプリケーションサーバのクラス
	Interstage Java EE 6 で共通に使用するクラス
	Java DB のクラス
	定義項目「クラスパスのサフィックス」(※1)に設定したクラスパスから検索されるクラス

※1 定義項目については、「[4. 定義項目「クラスパスのサフィックス」](#)」を参照してください。

※2 Java EE 6 全体のクラスローダ構成については、「Java EE 運用ガイド(Java EE 6 編)」 - 「クラスローダの構成」を参照してください。

2. 適用条件

本書で公開する機能は、以下の環境のみで設定可能です。

Interstage Application Server V11.0 ~ V11.1.0 (全 OS、全エディション)
Interstage Application Server V11.1.1 (Linux32/64、全エディション)

<前提パッチ>

Windows32 : T008929WP-01 以降
Windows64 : T008955XP-01 以降
Solaris32/64 : T009571SP-01 以降
Linux32/64 : T008930LP-01 以降

※V11.2 以降では上記<前提パッチ>は不要です。また、公開する定義項目も製品マニュアルで公開しています。

3. 設定方法

クラスパスのサフィックスは、asadmin コマンドの set サブコマンド(※3)を使用し、定義項目「クラスパスのサフィックス」で設定します。設定を有効にするには、設定対象の IJServer クラスタまたは Interstage Java EE 6 DAS サービスを再起動する必要があります。

※3 asadmin コマンドの set サブコマンドについては、「Java EE 運用ガイド(Java EE 6 編)」 - 「asadmin」 - 「set サブコマンド」を参照してください。

設定例を以下に示します。

・ Windows

IJServer クラスタ名が IJServer001、指定するクラスパスが C:\work\jar1.jar と C:\work\jar2.jar の場合

```
C:\Interstage\F3FMisje6\glassfish\bin\asadmin set IJServer001.java-config.isjee-  
classpath-suffix=C:\work\jar1.jar;C:\work\jar2.jar
```

・Linux、Solaris

IJServer クラスタ名が IJServer001、指定するクラスパスが /work/jar1.jar と /work/jar2.jar の場合

```
/opt/FJSVisje6/glassfish/bin/asadmin set IJServer001.java-config.isjee-classpath-  
suffix=/work/jar1.jar${path.separator}/work/jar2.jar
```

4. 定義項目“クラスパスのサフィックス”

クラスパスのサフィックスは以下の定義項目で設定します。

・クラスパスのサフィックス

[定義項目名]

```
${clusterName_instanceName_configName}.java-config.isjee-classpath-suffix
```

[説明]

共通クラスローダのクラスパスの末尾に挿入するクラスパスを絶対パスで指定します。

指定したクラスパスから検索されるクラスは、設定対象の IJServer クラスタまたは Interstage Java EE 6 DAS サービスで使用されます。

複数のパスを指定する場合は以下のいずれかで区切って指定します。

- ・ \${path.separator}
- ・ Windows の場合、セミコロン “;”
Linux、Solaris の場合、コロン “:”

[範囲]

任意の文字列

[省略値]

なし

[再起動要否]

必要

5. 制限事項

Windows の場合、以下の制限があります。

・制限事項

定義項目“クラスパスのサフィックス”に指定した jar ファイルが、設定対象の IJServer クラスタを停止しても削除できない場合があります。

・対処方法

設定対象の IJServer クラスタとあわせて、Interstage Java EE 6 DAS サービスも停止してください。

・解除予定

未定

改版履歴

版数	修正日	修正内容
1.0	2015.11.27	初版